

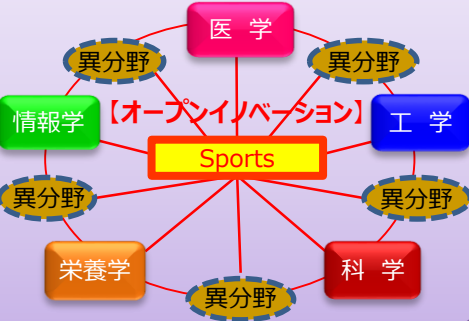
【事業概要】

東京2020大会での日本代表選手のメダル獲得や、2021年以降の我が国の国際競技力の更なる向上に資するため、競技現場のニーズを踏まえた基礎的研究とそれに基づく実践的研究の実施、および、次世代の中核を担う優秀な若手研究者の育成・輩出を、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）と連携し継続して行う機関を「スポーツ研究イノベーション拠点」として指定する。

- 拠点では、東京2020大会、および、2021年以降の国際競技会における競技力の更なる向上実現のため、HPSCとの連携（競技現場の実情やニーズの把握、競技現場への実装化、HPSCとの共同研究等）の下、スポーツを中核として最先端の様々な研究分野と融合・連携したこれまでにないスポーツに関する独創的で革新的な研究や、地域や組織の特性を最大限に生かした斬新なスポーツに関する研究等を実施する。（オールジャパン体制の構築）
- また、スポーツ研究イノベーション拠点の特徴を生かしたスポーツにおける次世代の中核を担う優秀な若手研究者を育成するためのプログラムを策定し、当該プログラムに基づき若手研究者を育成する。（新たなスポーツ政策の企画・立案、強化現場における新たなサポートへの反映など）

各拠点内での取組

独創的で革新的な研究等の実施
スポーツを生かした新たな研究領域の形成



若手研究者育成プログラムの実施
拠点の特徴を生かした若手研究者の育成

若手研究者
育成プログラム
の策定

次世代の中核を担う
優秀な研究者の育成

●各拠点での取組（研究・若手研究者育成）をベースに、より競技現場にメリットがもたらされるような実践的なHPSCとの連携体制の強化・構築。

HPSCとの連携の実施

【イメージ図】HPSCを中心としたスポーツ研究連携体制

⇔ 直接連携の場合もある

密接な連携

← 競技現場の状況・ニーズ
HPSCの状況・ニーズ

→ 研究成果
基礎研究情報

⇔ 共同研究
若手研究者・人材交流
など

⇔ 共同研究
⇔ スポンサー契約や事業契約
⇔ 若手研究者・人材交流

ハイパフォーマンス スポーツセンター



などでの連携

●拠点形成プロセスで得られた知見（課題・工夫など）を、研究・育成・連携各々の部分で、他の研究機関が参考にし有効に活用できるノウハウとして遺す。

新たな視点

●成果の使い勝手・利便性をあげる工夫

- ・パッケージ化
- ・アプリ化
- ・フィードバック
- 内容・方法のカスタマイズ対応

等の工夫が、より多くの指導者・競技者・競技種目への実装に結びつく

●SRIPの成果のトップアスリート以外への還元

ジュニアへの活用、一般人への活用、予防医学やリハビリへの応用、地域産業の活性化等への可能性

◎各競技団体



◎民間企業



◎地方自治体



◎競技施設



◎医療機関



... etc